

○アクションプラン

令和7年度 荻生小学校アクションプラン1	
重点項目	【徳】生徒指導 ーやさしくー
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	・昨年度は、計画委員会主催の「あいさつボランティア」活動により、学校全体で挨拶をする意識を高めることができた。地域の方と一緒に「さわやか挨拶運動」や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組むことで言葉のやりとりに相手を思いやる気持ちも見られた。しかし、自発的で相手や周りに伝わる挨拶とはなっていないことが多く、言葉遣いが原因でトラブルになることもあった。好ましい人間関係を築き、維持していくためにも家庭や地域と連携し、相手を意識した挨拶や言葉遣いを指導していく必要がある。
達成目標	・気持ちのよい挨拶や望ましい言葉遣いができる児童の割合90%以上を目指す。
方 策	◎生活アンケートや教育相談、情報交換等を定期的実施し、チームとして取り組む。 ・地域や家庭と連携しながら挨拶運動や人権集会等を行い、相手を意識した挨拶や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組んでいく。 ・場所や相手に応じた言葉遣いができるように指導する。
令和7年度 荻生小学校アクションプラン2	
重点項目	【知】学力向上 ーかしこくー
重点課題	主体的に学び合う子供の育成
現 状	・昨年度は、「学習の約束」の中から、児童の意見を参考にして2項目を目標として選ぶことで、学習規律を意識付けることができた。しかし、学年や個人によって数値にばらつきがあり、個に応じた支援や指導が必要である。
達成目標	・「相手を見て静かに話を聞く」「授業が始まる前に席に着く」の2項目の学習規律を守ることのできる児童の割合90%以上を目指す。
方 策	◎全校共通の「学習の約束」を活用し、学習規律をさらに意識付け、友達の考えをよく聞き、学び合えるようにする。 ・学習規律について自己評価する週間を学期に1回設定し、取組を見直す機会を設ける。
令和7年度 荻生小学校アクションプラン3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 ーたくましくー
重点課題	メディアとのよい関係について理解し、自己調整できる子供の育成
現 状	・昨年度は、各家庭でのメディア視聴のルール設定し、学校保健委員会の講演等により、メディアコントロールの必要性を意識付けることができた。しかし、とやまゲンキッズ作戦の結果や荒天時の校内の様子、保護者アンケートからは課題が見られた。そこで今年度も継続し、電子媒体との関わり方やその大切さについて知識や理解を深めて定着させ、家庭と連携しながら実践への意識が高まるように指導していくことが必要である。
達成目標	・家族で決めたメディア視聴のルールを守り、メディアコントロールの取組に対する自己評価90%を目指す。
方 策	◎メディアとのよい関係について理解し、自己調整することができるようになる。 ・とやまゲンキッズ作戦、i-checkを活用し、本校児童の実態を把握する。 ・保健だよりやHP、学級懇談会等を通して、メディアコントロールの重要性について周知し、各家庭でメディア視聴のルールや時間を決める。 ・メディア視聴について自己評価する週間を学期に1回設定し、取組を見直すことができるようにする。 ・PTAと連携し、保護者にメディアコントロールの重要性を伝える場を設ける。